

### 外部評価軽減要件確認票

事業所番号	23734000486
事業所名	グループホーム せんじゅ

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 町内会に加入し、地域の広報誌を頂いたり回覧板を通じて地域情報を収集している。年数回の地域清掃の参加があり、地域貢献し協働関係を深めている。利用者が離接した際には、警察、近隣住民の協力があり、迅速な解決に繋がった。日常の散歩時に住民と挨拶を交わしたり、近所の喫茶店では顔なじみの関係性を継続し、ホームが地域の一員として認知され良好な関係を構築している。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 運営推進会議は市職員、あんしん相談センター職員、利用者家族を構成員とし、年6回規定通り運営されている。前年度に引き続き社内開催とし、議事録を各構成員に配布、意見を招集している。議事録にて運営状況の報告や事故報告等の困難事例について周知し、回答があれば職員間で検討し、運営改善に努め協力体制を深めている。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 市高齢者支援課窓口には介護保険更新手続き等で直接出向く機会がある。何かあれば電話で相談し指示を頂く等、運営の実情を伝え挙動関係を深められている。利用者が離接時は市窓口と相談し、あんしんメールを活用し検索の連携を図り協力関係を深めた。市町村作成の研修題材のDVDを閲覧し、職員の育成に役立てている。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 意見箱の設置があり、利用者や家族の意見要望を受け止める仕組みがある。毎月「せんじゅだより」を発行し、写真や利用者其々のコメントを寄せて日常の様子を詳細に伝えている。何かあれば電話で即連絡を取り合ったり、ラインを活用して動画やビデオ電話を通じて利用者の様子を伝える事で家族の意見や要望を引き出しやすくなり、相互の信頼関係を深める事に繋げている。利用者の意見や要望は、日常のコミュニケーションから引き出し、職員間のラインワークで周知し支援に反映している。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	○
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	×	○	○	○	○	○	◎	○	○	◎	○
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	◎	○	◎								